

国語 第6学年 漢字の形と音・意味

授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。光村図書の令和6年度版年間指導計画に基づく1学期の授業案。教材本文・台詞・挿絵・問題文は転載していない。

この単元で子どもが最後にできるようになること

漢字の共通する部分と音・意味の関係を調べ、例外も含めて確かめる。学習の記録は、漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文である。公式年間計画は知識・技能に重点を置く短い教材としている。本案でも本時は知①を中心に記録し、思考・判断・表現をこの教材だけで独立して評価する扱いにはしない。

学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

学習指導要領の項目	原文
〔第5学年及び第6学年〕〔知識及び技能〕(3)ウ	ウ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。
〔第5学年及び第6学年〕〔知識及び技能〕(1)エ	エ 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

単元の目標

漢字の由来、特質などについて理解することができる。（〔知識及び技能〕(3)ウ）

漢字の共通する部分と音・意味の関係を調べ、例外も含めて確かめる学習の中で、言葉への関心を持ち、自分の取り組みを見直そうとする。

評価規準（3観点）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）	①この教材単独では記録に残す評価を行わず、関連する言語活動の単元で見取る。	①漢字の共通する部分と音・意味の関係を調べ、例外も含めて確かめる学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

単元の流れ

光村図書の年間指導計画による全2時間（知・技2）。総時数は公式資料に従う。各時の配分と本時の選定は、本案による授業配当の提案である。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1	○誰に何を伝えるかを確認め、書く材料や最初の文を出す。 既習漢字の共通部分を見付け、辞典で音と意味を確認する。	学習状況を見て支援する。
第2次	2 （本時）	○既習漢字の共通部分を見付け、辞典で音と意味を確認する。共通する点と当てはまらない点を整理し、文の中で正しく使う。対象の言葉や文字をもう一度使い、確かめたことが別の例でも生かせるかを試す。	知①（発言・活動中の記録・作成物）



本時の案

本時の目標：漢字の由来、特質などについて理解することができる。（〔知識及び技能〕(3)ウ）

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
導入 （ 分）	誰に何を伝えるかを確かめ、書く材料や最初の文を出す。 ○「形が似た部分をもつ字は、音や意味もいつも同じでしょうか」 【めあて】漢字の共通部分と音・意味の関係を調べ、例外も含めて確かめる。 〈予想される児童の反応〉 ・同じへんでも別の字になる。	最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。
展開 （ 分）	○「形が似た部分をもつ字は、音や意味もいつも同じでしょうか」 既習漢字の共通部分を見付け、辞典で音と意味を確認する。共通する点と当てはまらない点を整理し、文の中で正しく使う。 対象の言葉や文字をもう一度使い、確かめたことが別の例でも生かせるかを試す。 〈予想される児童の反応〉 ・同じへんでも別の字になる。 ・左右の部分の大きさが同じではない。 ・意味に関わることもあるが辞書で確かめたい。	教科書で扱う既習漢字を部品カードに分け、正字の見本で位置と大きさを確かめる。独自例「木」と木へんの字を比べ、存在しない組合せは造字と区別する。 想定する難しさ：漢字を左右の真ん中で機械的に分ける、同じ部品なら意味も完全に同じだと決める。 評価では、漢字の由来、特質などについて理解しているかを、漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。 ◎知① 漢字の由来、特質などについて理解している。（発言・活動中の記録・作成物）
まとめ （ 分）	【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。 漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文を見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確かめる。 〈予想される児童の反応〉 ・意味に関わることもあるが辞書で確かめたい。	教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確かめる。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。 ◎態①（最初と最後の記録、見直しの理由）

板書の構造（縦書き・右から左へ）

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「形が似た部分をもつ字は、音や意味もいつも同じでしょうか」。中央は、漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文に必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要な範囲を示す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

つまずきやすい所と手当て

漢字を左右の真ん中で機械的に分ける、同じ部品なら意味も完全に同じだと決める。この難しさには、教科書で扱う既習漢字を部品カードに分け、正字の見本で位置と大きさを確かめる。独自例「木」と木へんの字を比べ、存在しない組合せは造字と区別する。評価では、漢字の由来、特質などについて理解しているかを、漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

プリントの案

本時の記録

漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文を残す欄を用意する。教材本文や図を複製せず、自分の言葉や印で記録する。

比べて確かめたこと

最初の考えや表現、友達からの反応、確かめた言葉、最後に選んだ考えや表現を対応させる。書く負担が大きい場合は口述や指差しも教師が記録する。

出典：光村図書 令和6年度版 年間指導計画。教材名・時期・総時数・目標の出典。年間指導計画例 Excel（6年）「6年」29行目（https://www.mitsumura-tosho.co.jp/download_file/view/1fcac788-a61c-4521-a515-9a40f3413770/368）／文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）。保存した公式原文と学年段階・項目を照合。

（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）／国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語。評価の観点と記録の考え方。

（https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf）

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

